

## 第2回「早明浦ダム濁水対策新技術検討委員会」審議結果

10月14日14時から、高知市共済会館(高知市本町)にて開催いたしました、「第2回 早明浦ダム濁水対策新技術検討委員会」の審議結果につきまして、下記のとおり発表いたします。

### 1. 第2回委員会審議結果について

第2回委員会では、第1回委員会(平成22年3月26日開催)において一次選定された15件の濁水対策技術について、技術の評価方法の妥当性や必要な追加検討事項などについて審議を行いました。

下記のようなことが議論されました。

#### <委員の主な意見>

- ・各応募技術の効果を把握するための机上検討手法(シミュレーションモデルによる解析)については、概ね妥当である。
- ・早明浦ダム湖で、濁水の濁りを早く沈降させるための「凝集剤」の効果については、貯水池内の流動による攪拌の可能性を確認する必要がある。
- ・予備実験として「凝集剤」の効果を確かめる室内実験を実施すること。
- ・浚渫技術については、陸上掘削が最も有効である。
- ・応募技術に対する、改善方策が提案され、次回の委員会までに、検討してはどうか。

などの意見をいただきました。

### 2. 今後の予定

今後は、第2回委員会での指摘事項や意見などを踏まえ、追加検討や評価の再整理を実施し、第3回委員会(平成23年1~2月開催予定)で技術評価を行う予定です。

平成22年10月15日

#### 問い合わせ先

事務局 国土交通省吉野川ダム統合管理事務所

調査・品質確保課長

南 昭裕

TEL (0883) 72-3000

計画係長

造田康盛

FAX (0883) 76-0301